+1 a

チャリティ&オークション 11th

安全な一日 A Safe Day

2025 年 11 月 26 日 (水) — 12 月 13 日 (土) OPEN pm 12 – 7 水・木・金・土曜(日・月・火曜休廊)

今年のテーマは「安全な一日」です

年末のチャリティ展は今年で11回目です。本チャリティ展からマララ基金への寄付総額は、この10年間で734,125円になりました。これまでの本展参加作家、オークション参加者の皆さん、このささやかな活動に協力いただいたことに改めて敬意と謝意を表します。

本展は途上国の女子教育を支援する非営利団体マララ基金に売上の一部を寄付するチャリティ展です。女性の社会地位が向上することで、少しでも平和で安全な世界になるようにと願うからです。しかしこれには長い時間、数世代もの時間がかかるでしょう。その間にも戦争や戦闘はおこっており、たくさんの人が犠牲になっている現実があります。特にいまガザで起こっていいるのはひどい。つい先日も、戦争中の生活ぶりをユーチューブを通じて配信した11歳の少女ヤキン・ハンマドさんが数十人の他の子どもとともに、イスラエルの爆撃で死亡しました。飢餓と爆撃に苦しむガザの人たちに「安全な一日」はありません。ガザから遠い私たちは「安全な一日」を送っています。私たちにとってはそれが当たり前で普通の日常である「安全な一日」。この空の下には、想像を絶するいろいろな普通と日常があります。そこで今回は私たちの「安全な一日」をテーマにしたいと思います。

*

51人の作家による作品は全て、オークション形式で販売し売上額の10%を途上国の 女子教育を支援するマララ基金に寄付します。(マララ基金については ▶ https://www.unic.or.jp/activities/celebrities/peace_messengers/malala/)

*

11/29に開催のトークイベントは、イタリアを中心とするヨーロッパの近代芸術の歴史を研究されている鯖江秀樹氏をお招きし、「危険なアート」をテーマに語っていただく予定です。

| 会期中催し |

トークイベント

日 時:11月29日(金) PM5~

出 演:鯖江秀樹 SABAE Hideki (京都精華大学准教授)

会 場:+lart

参加費:500円(1ドリンク

定 員:20名(予約優先▶gal@pluslart.jp)

アーティストや美大生はさておき、芸術と地続きの生活を送っている人は決して多くないでしょう。美術館巡りや音楽ライブなどは日常のうっ憤を晴らしてくれますし、それらを「安定した社会を維持するためのガス抜き」と見なす学問的な立場もあります。このことはしかし、アートがわたしたちにとっていかに強力なポテンシャルを秘めているかをかえって如実に物語ってくれています。

このように本来的に「キケンな」相貌を帯びるアートと、わたしたちはどう付き合っていくべきか。このことを、近現代の芸術作品の例に考えます。リスク、危機、危険、ハザード、警告など、キケンという概念に含まれる他の理念を腑分けしながら、講師が翻訳した近著を踏まえてお話しします。



SABAE Hideki

1977年姫路市生まれ。博士(人間・環境学)。近代芸術史表象文化論。単著に『糸玉の近代20世紀の造形史』(2022)、『イタリア・ファシズムの芸術政治』(2011)。訳書にマリオ・ペルニオーラ著『すべてがアートになったあと現代美術と理論の戦略』(2025)、パオロ・ダンジェロ『風景の哲学芸術・環境・共同体』(2020)など。共著に『万博と「日本」アートとメディアの視点から』(2024)など。

公開オークション

オンラインで最終入札を行います。

日 時:12月13日(土)PM4~7

参加費 :無料

詳細は webページでご確認下さい。

オークション

展示作品は、会期中、ギャラリーで入札できます。 インターネットからの入札も可 (+lartホームページに入力フォームがあります)

| 出品作家(作品素材)

- 1 あまのしげ(フレスコ画) **AMANO Shige**
- 2 安藤由佳子(木、ドアビューアー)
- 3 池田 慎(布、スポンジ、ファスナー) IKEDA Shin
- 4 石橋志郎(雲肌麻紙、膠、岩絵具) ISHIBASHI Shiro
- 5 井上明彦 **INOUE** Akihiko
- 6 今井祝雄(録音テープ、スピーカー) **IMAI** Norio
- 7 岩田 萌(OHPフィルムにインクジェットプリント) 33 林 葵衣
- 浮川秀信(ピアノ線ラッカー塗装 他) UKIGAWA Hidenobu
- 加藤悦郎(アルミニウム板、アクリル絵具)
- 10 菊池和晃(石膏、ステンレス、アルミニウム) KIKUCHI Kazuaki
- 11 北村侑紀佳(パネル、パルプベース、ジェッソ、水性ペン)37 冬耳(アクリル絵具、木製パネル)
- 12 葛本康彰(ミクストメディア) KUDZUMOTO YASUAKI
- 13 国谷隆志(ステンレススティール、パネル) KUNITANI Takashi
- 14 久保恵理子(ミクストメディア) KUBO Eriko
- 15 栗本夏樹(ミクストメディア)
- 16 監物紗羅(麻紙、水干絵具、岩絵具、棒絵具) **KENMOTSU Sara**
- 17 佐古 馨(ミクストメディア) SAKO Kaoru
- 18 笹岡 敬(ミクストメディア) SASAOKA Takashi
- 19 シュヴァーブ トム Tomas SVAB
- 20 スズキマイコ(油性木版画、鳥の子紙) SUZUKI Maiko
- 21 角谷恭子(木、紙、アクリル) SUMIYA Kyoko
- 22 **高畑紗依(OHPフィルム**に雨)
- 23 武田紗也加(和紙に油彩、膠、岩絵具、顔料) TAKEDA Savaka
- 24 田口伸子(フレスコ画)
- 25 谷内春子(麻紙、膠、顔料) TANIUCHI Haruko

- 26 谷口 歩(ワイヤー) TANIGUCHI Avumu
- 27 中澤ふくみ(紙、鉛筆) NAKAZAWA Fukumi
- 28 中島 麦 NAKAJIMA Mugi
- 29 野口ちとせ(ミクストメディア) NAKAMORI Midori
- 30 野村 由香(インクジェットプリント、木材、紙粘土)
- 31 橋爪ちなつ(木製パネル、和紙、水干絵の具、岩絵具) HASHIDUME Chinatsu
- 32 はしもとともこ(布地、ビーズ、フェルト、針金) **HASHIMOTO Tomoko**
- HAYASHI Aoi
- 34 范 叔如(中国の宣紙) Fan Shuru
- 35 福井 悠(膠彩画) FUKUI Haruka
- 36 藤本由紀夫(木、プラスティック) FUJIMOTO Yukiol

- 38 ベリーマキコ Makiko Berry
- 39 前田あかね(磁土、釉薬)
- MAEDA Akane
- 40 松下みどり(胡粉、ペン、墨) MATSUSHITA Midori
- 41 ミコワイ・ポリンスキ(ミクストメディア) Mikołaj Połiński
- 42 ミホリトモヒサ(ミクストメディア) MIHORI Tomohisa
- 43 宮岡俊夫(油彩、板) MIYAOKA Toshio
- 44 MIYABI(紙粘土、アクリル絵具、色鉛筆)
- 45 村上 ルミ(アクリル絵具、ベニヤ、木材、布) MURAKAMI Rumi
- 46 森村 誠(木ネジ) MORIMURA Makoto
- 47 矢作隆一(石) YAHAGI Ryuichi
- 48 山下裕美子(磁器、糸) YAMASHITA Yumiko
- 49 山西杏奈(トチ) YAMANISHI Anna
- 50 山本 堪(コルドバ紙、Cプリント) YAMAMOTO Kan
- 51 山本 雄教 (木パネル、鳥の子紙、手描きエンボス) YAMAMOTO Yukvo



Sudden Appearance (インクジェットプリント、木材、紙粘土) 野村由香



ON THE EARTH (MODEL) (木、プラスティック) 藤本由紀夫



Frames (コルドバ紙、Cプリント) 山本 堪



画材による"BIAS"2025-03 (パステル、シャープペンシル芯、キャンバス、 樹脂版、エポキシ接着剤、他) ミホリトモヒサ



会話のカケラ (録音テープ、スピーカー) 今井祝雄



これって安全? (磁土、釉薬) 前田あかね



whisper (麻紙、膠、顔料) 谷内春子



(ピアノ線ラッカー塗装他) 浮川秀信



Times 2025 (ミクストメディア) 笹岡 敬



Blank space (磁器、糸) 山下裕美子



夕日 (油性木版、鳥の子紙) スズキマイコ



±0 (木ネジ) 森村 誠



a piece of rose mandala (フレスコ画) 田口伸子



色をすく 1-2

武田紗也加



TIME EMIT



(和紙に油彩、膠、岩絵具、顔料)(OHPフィルムにインクジェットプリント) 岩田 萌



領土 (欅樹皮に漆塗り) 栗本夏樹